

対談『ふるさとを想う ～映画「(仮) ローカル線ガールズ」の制作を通じて～』  
東京・関西勝山会から 他



## 映画「(仮)ローカル線ガールズ」制作に寄せて

株式会社広栄

代表取締役 河合 広栄

私が勝山を離れて三十一年。勝山に帰るたびに迎えてくれる変わらぬ景色に、タイムスリップしたような不思議な気持ちになります。私の家があった後町に行くと、懐かしい反面、近所の家が一軒ずつなくなり、声をかけてくれるおばちゃんもいなくなりました……。子供の頃、オシャレして外に出れば、近所のおばちゃんが「どこ行くの?」「福井行く?」「いーなあ、おばちゃんにケンタッキーこうてきて」と声を掛けられ、困った私の顔を見て大笑いするおばちゃんの顔を思い出し(笑)、ひとつひとつの思い出が私の故郷、勝山です。

私のように、人それぞれに家族や故郷がある、懐かしい故郷を思い出せるような映画を勝山で撮りたいと思うようになりました。そんなことを考えている時、「ローカル線ガールズ」という本と出会いました。電車が走ることで色んな景色の福井を紹介出来るだろうし、再出発したえちぜん鉄道を舞台に一度故郷を捨てた主人公が故郷で再出発するドラマは、老若男女問わず多くの皆さんに共感してもらえないか…そんなことを考えて台本を作りましたが、撮影まで二年以上の年月がかかりました。

映画の撮影は昨年十一月十四日にクランクインし、十二月四日に終了しました。最も印象深いシーンは左義長まつりでした。左義長まつりは映画のクライマックス！兄役の緒形直人さんと妹役の横澤夏子さんの思いが詰まった兄妹太鼓です。感動的な素晴らしいシーンになりました。あとは、二月に実際の左義長まつりの様子を撮影、編集して十一月にはお披露目出来ると思います。映画を見ていただいて、これが我が町勝山だ、福井だ、と自慢してもらえそうな作品に仕上げますので、ぜひ、映画「ローカル線ガールズ」を宜しくお願致します！

そして、ご協力いただいた皆様、本当に感謝申し上げます。ありがとうございます！私も三十一年ぶりの左義長まつりを楽しみます！

# 対談 ふるさとを想う ~映画「(仮)ローカル線ガールズ」の制作を通じて~

地方の若者が進学や就職を契機にふるさとを離れ都会に出る、全国各地の地方都市で、人口減少による活力の低下が深刻な社会問題となっています。

映画「(仮)ローカル線ガールズ」は、東京での生活に区切りをつけ、生まれ故郷にもどってきた主人公が、失敗を繰り返しながらも、やがて自分の居場所を見つけ、人間的に成長していく物語です。

映画をご覧になった方が、故郷や家族に想いを馳せ、故郷に帰ってみたいくなる、家族に電話したくなる、そんな映画の制作をプロデュースされた、勝山市出身の河合広栄さんにお話を伺いました。



【対談日】平成30年1月17日

【出席者】株式会社広栄 代表取締役 河合広栄

ふるさとルネッサンス委員会 委員 丸屋仁志、笠川小末、森本陽子、阿部光郎、荒尾るみ子（順不同・敬称略）

昔は、町を歩いていると、近所の人に よく声をかけてもらいました。知り合いばかりで嫌だったと



株式会社広栄  
代表取締役 河合広栄氏

【丸屋】河合さんは勝山市ご出身でいらつしやるそうですが、勝山の思い出を聞かせてください。

【河合】私は勝山市の後町で育ちました。私の親戚は全員、勝山が大野にいましたし、お墓は了西寺にあります。私のルーツは勝山にしかありません。小さい頃、よく祖父や祖母のお使いで、煙草を買いに行ったのですが、おつりで好きなものを買っていいよと言われ、上袋田のストアで肉まんやお菓子を買ったことを覚えています。

## ふるさと勝山の思い出

【丸屋】今日は、勝山を舞台に制作中の映画「ローカル線ガールズ」のプロデューサーを務めていらつしやる河合広栄さんにお越しいただきました。先月、左義長まつりの櫓での場面を撮影されるとお聞きしています。今回の映画制作に寄せる想いなどを伺いたいと思います。よろしくお祈りします。



ルネッサンス委員長  
丸屋仁志

【笠川】私も山に囲まれた盆地の勝山が嫌で、高校卒業後、名古屋に行きました。なんで帰ってきたのか(笑)、今は北郷に住んでいるので、山に囲まれた窮屈な感じは半分減りました。

【河合】ずっとその土地に住み続けることも大切なことだと思います。

【森本】五六豪雪のときは、勝山にいらつしやいましたか。

【丸屋】年に数回は帰省されているとのことですが、勝山は変わりましたか？

【河合】あんまり変わらな思っています。道路は広くなり便利になりましたけど。

【笠川】勝山市に悪い思い出はなかったんですか。

【河合】小学一年の時に母親を、中学一年の時に父親を亡くし、大きい家に祖母とふたりになつちやったので東京に引越しました。だから、勝山には嫌な思い出も、寂しい思い出もありました。でも、四十歳を過ぎた今、それに向き合いたいと思えるようになりました。ここ勝山があったから今があると。だから勝山のために何かしたかったんです。

【森本】私、高校を卒業する頃は、企業は男性社会でした。芸能界は実力のある者が残っていく社会だと思ったので、芸能界を選びました。芸能界は華やかに見えますが、皆さんの想像以上に地味で実直な世界です。売れるのは一握り。売れない人の方が多いです。

高校卒業後、芸能プロダクションに就職し、マネージャーをしていました。途中でマネージャーをやめて、ドラマやCM、ソーシャル、映画を作っていました。三十歳で独立して今は、ものを作るこの方が多いです。

東京では、福井を知らない人が多いし、まして勝山なんて誰も知らないです。よ。映画を始める前に、新宿でたまたま前を歩いていた七十代くらいの女性が、一緒にいたお友達に「孫が新幹線で福井の恐竜博物館に行くんだけど、何にもないから京都に泊まるの」と話しているのを聞きました。これじゃだめだなと思えました。勝山には恐竜博物館ができて、平泉寺があって、京福電車がえちぜん鉄道に生まれ変わって、便利なところもあるのに、どうしてクローズアップされないのかな、私に何かできないのかな、と考えていたとき、たまたま「ローカル線ガールズ」という本に出会いました。これを映画にすれば、勝山

## 映画制作について

【河合】小学四年の時です。今でも覚えています。二階から出入りして、一時間かけて通学しました。よくやっただと思えます。

【森本】映画制作に携わるようになったきっかけは何ですか。

【河合】私が高校を卒業する頃は、企業は男性社会でした。芸能界は実力のある者が残っていく社会だと思ったので、芸能界を選びました。芸能界は華やかに見えますが、皆さんの想像以上に地味で実直な世界です。売れるのは一握り。売れない人の方が多いです。

高校卒業後、芸能プロダクションに就職し、マネージャーをしていました。途中でマネージャーをやめて、ドラマやCM、ソーシャル、映画を作っていました。三十歳で独立して今は、ものを作るこの方が多いです。

東京では、福井を知らない人が多いし、まして勝山なんて誰も知らないです。よ。映画を始める前に、新宿でたまたま前を歩いていた七十代くらいの女性が、一緒にいたお友達に「孫が新幹線で福井の恐竜博物館に行くんだけど、何にもないから京都に泊まるの」と話しているのを聞きました。これじゃだめだなと思えました。勝山には恐竜博物館ができて、平泉寺があって、京福電車がえちぜん鉄道に生まれ変わって、便利なところもあるのに、どうしてクローズアップされないのかな、私に何かできないのかな、と考えていたとき、たまたま「ローカル線ガールズ」という本に出会いました。これを映画にすれば、勝山

だけじゃなく、沿線自治体を含めて福井全体を宣伝することができると思います。

## 映画「仮ローカル線 ガールズ」について

【森本】勝山がメインの映画なんですか。

【河合】そうですね。おそば屋の八助さんで生まれ育った設定ですし、家族がいる部屋は勝山市内の空き家をお借りして撮影しました。タンスなどの道具もお借りできるものはなるべくお借りしました。

映画は主人公の女性が東京から帰ってくるというストーリーなのですが、なんで東京に行ったのか、どうして勝山に帰ってきたのか、どうやって勝山で身を立てていくのか、ということも、とても上手に描けたと思いますので、ぜひ多くの皆さんに見ていただきたいと思います。コメディ映画だと思われるかもしれませんが、泣ける場面もあり、いい映画になったと思います。

映画の主人公は私と同じような設定にしました。ふるさとが嫌で逃げるように都会に出て行った。だから帰ってくるのは足が重い、敷居が高い。兄はそんな風に思わず、妹に帰ってきてほしいけど、帰って来いと言えない不器用な男です。コメディだと思ってるのと、意外に重いかもしれません。

【森本】自分史みたいなのですか。

【河合】そうですね。簡単に出て行って、思いが実らなかつたから簡単に帰ってくる話では、つまらないじゃないですか。帰って来たいけど、足が重くて帰って来れなかつた、だからいいんです。

映画は同じシーンを見ても、見る人の価値観で感じるものが違っていいんです。見る人の感覚に任せる。俳優に感情移入する感覚で見てもらえるのが映画です。

【森本】高校生の時、国語の先生が、勝山の美しい景色をPRしてくださる芸術家がいたらいいなとおっしゃっていただいたことを思い出します。



ルネッサンス委員  
森本 陽子

その先生は電車で通っておられたと思うのですが、電車を降りて、勝山橋から勝山市内を見た時の風景がすごくきれいで、それを多くの人に知ってもらいたいと思っておられたようです。

河合さんは、映画を作るにあたって、どうしても入れたいという勝山の景色はありましたか。

【河合】ローカル線は全国にたくさんありますが、川が流れる山際を電車が走っている景色はなかなかありません。私は、特に小舟渡駅から勝山駅までの風景が好きなので、映画のオープニングでは、ドローンで撮影した、山際から川と一緒にスーッと勝山に入ってくる景色を使っています。最高のオープニングになりました。

【笠川】勝山をよく知っている人が、勝山を撮影して勝山の良さを伝えてくれることがとても嬉しいです。

【阿部】主人公に横澤夏子さん、お兄さん役に緒形直人さんを選んだ理由を教えてください。

【河合】つまづいて泣きながら一生懸命

成長していく主人公は、きれいな子が演じてても面白くないと思いました。ちよっと不細工くらいな子の方が絵になる、見ている人もそういう子の方が応援したくなる、と思いました。また、田舎って暗いイメージがあるのですが、お笑い芸人さんが演じることで、この作品コメディかな、見てみたいなのと思ってもらえるのではないかと考えました。あんまりシリアスにしなくなかったですし。兄役は色んな人に当たりましたが、緒形直人さんが台本に共感してくださったことと、横澤夏子さん以外はお笑い芸人にはしたくなかつたことが理由です。

映画は見てもらわないと話にならない。誰もが見たくなる映画にするためには、ストーリーは軽めの方がいい。実際に見ていただくと、家族の話なので重い部分も多いのですが、横澤夏子さんが出ていけば、楽しい映画を想像していただけるかなと。誰もが見やすい楽しい映画を作りたいなと思ってます。

【森本】これまでのテレビドラマって、都会に行つて成功する話ばかりなのに、地方に住んでいる私たちは歯がゆい思いをしています。この映画のように、田舎に帰ってきて成功する話はどうですか。

【河合】この映画は、東京では自立できなかったけど、田舎なら生活費が安いから自立できたという話ではない。主人公が人として一人前になる、大人になる、自立する話なんです。

## 撮影時のエピソードについて

【河合】私はディレクターじゃなくて、プロデューサーです。プロデューサーが監督や俳優やスタッフを決めて映画を作っていきます。今回の撮影は、フジテレビ系列の技術スタッフにお願いしましたが、これまで勝山に来たことのある人は一人もいませんでした。大阪なら日帰りできるけど、福井って交通の便が悪くて、なかなか来ません。映画のロケチームにはお金がかかりますから。だから、映画「チア☆ダン」女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話〜(福井商業高校チアリーダー部が全米チアダンス選手権大会で優勝した実話を描いた映画)も福井が舞台なのに、新潟で撮影されちゃうんです。今回の監督、俳優、スタッフには福井出身の人はひとりもいません。監督は東京の方ですが、東京の方が、えち鉄に乗って感動するんです。こんなに縦に揺れる、すごい音の電車は他にはないとか。都会の電車は横には揺れるけど縦には揺れません。あえて東京の人に、田舎の人が気づかない田舎の良さを伝えて欲しかったんです。そういうギャップを含めて都会出身の人を集めて撮影しました。

【森本】色んな視点が生まれますね。

【河合】今回、スタッフは越前大仏の門前町に宿泊させてもら



ルネッサンス委員  
笠川 小末

いました。掃除は自分たちでしましたし、食事は毎日、縄文の里料理研究会の方々に作っていただきました。目に見えないところで、地元の方々にたくさんのご協力をいただきました。

東京って夜でも明るいです。勝山の越前大仏の周辺って、夜は真っ暗なんです。こんなに星がきれいだと感じることも、こんなに自然を身近に感じることも、初めての人はかりでした。

【丸屋】沿線自治体ではどのような撮影をされたんですか。

【河合】今回の映画制作には、沿線自治体にもご支援をいただいています。沿線自治体では、東尋坊やあわら温泉など代表的な風景を撮影しました。

【丸屋】左義長の太鼓のシーンの撮影は、練習時間が短かったのに、芸人さんや俳優さんの覚えが早く、さすがだと関心しました。

【河合】芸人さん俳優さんは本当にすごいですね。今回、勝山や福井県内の方にも役をお願いしました。エキストラを含めると何百人にもなります。役はオーディションで決めたのですが、東京の人より上手な方も大勢いらっしゃいました。

【森本】撮影で苦労されたことはありませんか。

【河合】全部です(笑)とりあえず終わってホッとしました。ひとつめは、お天気が悪かったことです。天候で内容を急ぎよ変更したこともありましたが、ただ、上袋田区の櫓のシーンの撮影の日はとても天気がよかったです。これから二月末の本番の左義長まつりの撮影とつまく絵がつながるかとても心配です。ふたつめは、「チア☆タン」

の映画の十分の一ぐらいの予算でこれだけの俳優やスタッフを揃えたことです。勝山の方に色々なところでご協力をいただいたので、出演者もスタッフもみんな、勝山のためにやるんだ、という気持ちだけでやってくれました。テレビと違って映画は一生残るものですし、この映画に魅力を感じてやってくれました。勝山の方には本当にお世話になりました。雨は降るし、雪は降るし、寒いし、本当に大変でした。でも食べ物には本当においしかったです。

### 映画の今後のスケジュールについて

【丸屋】映画の今後のスケジュールを教えてください。

【河合】二月末の本番の左義長まつりで、おまつりの様子やどんと焼きの風景を撮影します。現在はそのシーンを抜いて編集作業を行っています。そのあと音楽を入れれば出来上がりです。映画は作るのに費用が掛かりますが、上映するのにも費用が掛かるんです。当初は、色々な映画祭に出品して賞を取って、上映したいと手を挙げてくれる映画館で上映していく予定だったのですが、今、大きな配給会社二社が手を挙げてくれてあります。ただ、大きな配給会社と組むとあちこちで公開できません。おそらく、今年秋頃に福井県

内の映画館で公開し、順次全国公開となりま



ルネッサンス委員  
荒尾るみ子

なった方が、今年の年末は田舎に帰ろう、今年の年末はふるさとで過ごそうと思ってもらえたらうれしいです。

【荒尾】勝山市民がご覧になれるのは、福井市の映画館なんです。福井市の映画館まで行かないといけないのはとても残念です。

【河合】音響も映像も劇場公開用に制作していますので、ぜひ映画館でご覧いただきたいと思います。まず、福井で大ヒットさせて、「ご当地映画ではなく、ふるさとを思う映画、ふるさとに帰りたいくなる映画だと全国公開へもっていきたいです。

【森本】一昨年「君の名は」という映画が大ヒットしました。私も二度見ました。あんな風に何度も見てももらえるといいですね。

【河合】「君の名は」のように映画を見た人がロケ地に行きたくなる、そんな狙いもあります。

### 東京勝山会について

【阿部】東京には東京勝山会という勝山出身の方の集まりがあります。参加されたことがありますが、ありますか。



ルネッサンス委員  
阿部 光郎

【河合】実は、これまで東京勝山会さんの存在を全く知らなかったんです。でも、昨年十月の東京勝山会に初めて参加させていただきました。東京勝山会や東京奥越経済同友会の方々には、映画制作にたくさんのご寄付をいただ

ており、心から感謝しています。ただ、東京勝山会に若い方も参加できるようにするのいいなと思いました。

### 勝山市民へのメッセージ

【丸屋】最後に勝山市民へメッセージをお願いします。

【河合】とにかく、映画を見てください、としか言いようがありません。それから、今回、食べ物、特に郷土料理が本当においしかったので、もっと胸を張って出して欲しい。ソースカツ丼もおろしそばも全国どこにでもあります。ハンバーグを食べに田舎にくるわけじゃない。ホテルでも、飲食店でも、ここでは食べられないもの、勝山市にしかないものがあるのいいと思います。

※映画のタイトルは、劇場公開の際変更になる可能性があります。





## 「関西勝山会」会員募集中!!

昨年11月5日に開催されました、第91回関西勝山会総会におきまして、会長の交代が承認されました。

前会長：近藤 義親

新会長：安居 早苗

第92回総会及び懇親会の日程等については現在調整中ですが、ふるさと勝山の近況報告あり、情報交換ありと、会員相互の親睦を図る絶好の機会ですので、多数の参加をお願いします。

歴史ある関西勝山会の存続に向け、新たな会員を募集しております。勝山市出身で関西地域にお住まいの方は、ぜひご連絡をお待ちしています。会員の皆様もお知り合いへのお声掛けをお願いします。



連絡先：関西勝山会 会長 安居 早苗  
TEL 075-723-9310



## 持続可能なふるさと会「東京勝山会」運営にご協力を!!

東京勝山会 会長 前川 邦生



企業であれ、地方公共団体であれ、NPO法人であれ、ボランティア団体であれ、小さな東京勝山会であれ、「マネジメント」は必要になるのか？

チェスター・バーナードによれば、

「一定の目的を達成するために、意識的に調整された複数の人々の活動システム」である。一定の目的を設定し、社会や地域、個人ニーズを満たすために存在するのである。ドラッカーや松下幸之助も同様のことを述べ「企業は社会によって公認されているのだ」という訳で「目的=使命」が重要となる。その「目的・使命」を達成し、成果を上げるために「マネジメント」が必要となる。

組織全体のことを理解し、その組織は優れた人間的な存在であり、社会的な存在である。よって、「信頼」され、「総理解」される組織つくりのため、「動機づ

け」をしっかりして、東京勝山会の「ふるさと愛」を育ててまいりたいと考えている。

時代の環境変化（社会状況やふるさと勝山との総理解等）を汲み取り「使命」の重要性和「役割」をわかりやすく簡潔に、再検討し、それに基づいて「現実」に動けるものとして、伝統ある東京勝山会をお引き受けいたしました。どうぞ「ふるさと」勝っちゃまの皆様や東京地域でご活躍の皆様の「お力」をお借りして「持続可能な勝山会」の運営をさせていただきたいと考えている。（大東文化大学名誉教授・愛国学園大学教授）

### 第65回「東京勝山会総会・懇親会」ご案内

日時：平成30年10月14日(日)正午より

場所：東京銀座 ライオン銀座七丁目店  
(隣は、GINZA SIX ガーデン)



## 第13回 東京勝高会 総会・懇親会のご案内

今年は、隔年開催の「東京勝高会 総会・懇親会」の開催の年です。勝山高校同窓の仲間と語り合いながら、勝山ゆかりの品を景品とする抽選会で盛り上がるなど、楽しい一時をご一緒に過ごしませんか。お問い合わせは右記までお願いします。

日時：6月3日(日) 12時~14時30分  
(11時15分より受付開始)

場所：霞が関ビル(35階) 東海大学校友会館  
千代田区霞が関3-2-5 TEL.03-3581-0121

会費：男性 7,000円 女性 6,000円

問合せ先：東京勝高会事務局 武田新夫  
TEL.090-9107-0361

# ふるさと納税でたくさんの応援をありがとうございます

498件 2,296万6千円 (H29.3月～H30.2月受付分)

皆さまからいただいた寄附金は、ジオパークによるまちづくりの推進、国民体育大会に向けた選手強化とスポーツ環境の整備、エコ環境都市の推進、子育て支援や高齢者・障害者福祉の充実、白山平泉寺の整備やPRなど、勝山市が実施する幅広い分野の事業に活用させていただきます。

日比野 暢 様 (東京都)	40,000円	久保 純一郎 様 (一)	—	森田 さだを 様 (愛知県)	—
山川 涼子 様 (一)	—	畑 正高 様 (京都府)	—	平野 靖朗 様 (和歌山県)	—
大塚 智樹 様 (福井県)	30,000円	佐藤 淳一 様 (岡山県)	—	酒井 陽一 様 (一)	—
金森 茂治 様 (群馬県)	—	中下 正巳 様 (奈良県)	—	中江 裕一 様 (一)	—
角谷 正 様 (大阪府)	60,000円	三屋 裕子 様 (一)	—	林 誠治 様 (大阪府)	30,000円
八十嶋 眞 様 (兵庫県)	200,000円	勝見 健二 様 (京都府)	100,000円	龍 信之助 様 (東京都)	50,000円
沢田 たつ彖 様 (静岡県)	73,000円	山岸 吉則 様 (一)	—	竹内 康俱 様 (福井県)	—
龍 倫之助 様 (東京都)	—	山口 正孝 様 (一)	—	湯屋 基生 様 (神奈川県)	—
血澤 康孝 様 (東京都)	—	佐野 幸男 様 (東京都)	50,000円	小林 亨 様 (神奈川県)	30,000円
血澤 朝子 様 (東京都)	—	竹内 誠 様 (一)	—	森瀬 博信 様 (東京都)	500,000円
血澤 宏章 様 (東京都)	—	牧下 昭夫 様 (茨城県)	30,000円	野 治 様 (群馬県)	200,000円
血澤 千枝美 様 (東京都)	—	西野 隆 様 (石川県)	50,000円	伊藤 かおり 様 (一)	—
血澤 康志 様 (東京都)	—	米脇 さとみ 様 (富山県)	—	石井 孝幸 様 (福井県)	—
血澤 ゆかり 様 (東京都)	—	勝見 昌枝 様 (京都府)	—	南部 洋子 様 (一)	—
山内 陽子 様 (福井県)	100,000円	國村 守 様 (石川県)	—	小場 康史 様 (福井県)	—
久保 江理 様 (一)	—	安居 早苗 様 (京都府)	300,000円		
栃木 邦彦 様 (東京都)	100,000円	三屋 清栄 様 (石川県)	—		

(上段から受付順に掲載)

- ※公表を承諾された項目のみ掲載しております。
- ※県の共同窓口を通じたご寄附を含みます。
- ※ガバメントクラウドファンディングへのご寄附は含みません。
- ※紙面の都合上、3万円以上のご寄附をいただいた方のみ掲載しております。全ての方のお名前は市ホームページに掲載しております。

## 寄附金の使い道に新たなコースを追加します

- 子育て環境日本一を目指して！
- 災害に強く安全で安心に暮らせるまちづくり

これからも、ふるさと納税で勝山市への応援をお願いします!!

# ガバメントクラウドファンディングへのご寄附ありがとうございました

## ★「君原健二ロードの創設」プロジェクト★

77件 121万1,201円 (H29.10月末終了)

⇒「君原健二ロード」の完成式は、5月20日開催のかつやま恐竜クロカンマラソンに併せて行う予定です。

## ★映画「ローカル線ガールズ」応援プロジェクト★

67件 615万8,000円 (H30.2月末終了)

⇒今年秋頃公開予定です。皆様ぜひご覧ください。

## ホワイトザウルス復活!!

昨年度多くの方に応援いただいたホワイトザウルス。

平成29年11月26日、完成記念式典を行い、寄附者の皆様や地元の皆様と復活を祝いました。



# ご支援ありがとうございます! 災害時緊急寄附「平成30年雪害支援」

68件 152万8,000円 (H30.2月末現在)

平成30年2月4日から降り続いた雪で、道路除雪が追いつかず、物流が滞り食料品や燃料が不足する、通勤通学の足が確保できないなど、市民生活が大きな打撃を受けました。また、とても残念なことに、人的被害や建物被害も発生しました。

復旧に向けて、たくさんの方々から温かいご支援を賜りました。心より感謝申し上げます。

## ふるさとルネッサンス委員

委員長	丸屋 仁志	委員	森本 陽子	委員	四谷 由起夫
委員	荒井 由泰	//	阿部 光郎	//	北川 晶子
//	笠川 小末	//	荒尾 るみ子		(順不同・敬称略)

発行/ふるさとルネッサンス委員会 (事務局) 勝山市商工観光部ふるさと創生・移住課  
 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL.0779-88-8130 FAX.0779-88-1119  
 E-mail.iju@city.katsuyama.lg.jp 勝山市ホームページ: http://www.city.katsuyama.fukui.jp

ゆっくいのんびり観光にきませんか?

